



3:7 ヨハネは、彼からバプテスマを受けようとして出て来た群衆に行った。「まむしの子孫たち。だれが、迫り来る怒りを逃れるようにと教えたのか。

3:8 それなら、悔い改めにふさわしい実を結びなさい。『われわれの父はアブラハムだ』という考えを起こしてはいけません。言っておきますが、神はこれらの石ころからでも、アブラハムの子らを起こすことができるのです。

3:9 斧もすでに木の根元に置かれています。だから、良い実を結ばない木はすべて切り倒されて、火に投げ込まれます。」

3:10 群衆はヨハネに尋ねた。「それでは、私たちはどうすればよいのでしょうか。」

3:11 ヨハネは答えた。「下着を二枚持っている人は、持っていない人に分けてあげなさい。食べ物を持っている人も同じようにしなさい。」

3:12 取税人たちもバプテスマを受けにやって来て、ヨハネに言った。「先生、私たちはどうすればよいのでしょうか。」

3:13 ヨハネは彼らに言った。「決められた以上には、何も取り立ててはいけません。」

3:14 兵士たちもヨハネに尋ねた。「この私たちはどうすればよいのでしょうか。」ヨハネは言った。「だれからも、金を力づくで奪ったり脅し取ったりしてはいけません。自分の給料で満足しなさい。」

3:15 人々はキリストを待ち望んでいたもので、みなヨハネのことを、もしかするとこの方がキリストではないか、と心の中で考えていた。

3:16 そこでヨハネは皆に向かって言った。「私は水であなたがたにバプテスマを授けています。しかし、私よりも力のある方が来られます。私はその方の履き物のひもを解く資格もありません。その方は聖霊と火で、あなたがたにバプテスマを授けられます。」

3:17 また手に箕を持って、ご自分の脱穀場を隅々まで掃ききよめ、麦を集めて倉に納められます。そして、殻を消えない火で焼き尽くされます。」

3:18 このようにヨハネは、ほかにも多くのことを勧めながら、人々に福音を伝えた。

3:19 しかし領主ヘロデは、兄弟の妻ヘロディアのことで、自分が行った悪事のすべてをヨハネに非難されたので、

3:20 すべての悪事にもう一つ悪事に加え、ヨハネを牢に閉じ込めた。

ヨハネはイエス様が世に現れる道備えをしました。

そのために命をかけたが、あくまでも自分は脇役でイエス様が盛んになることのみを求めました。

そのような人が主の書に記されるのです。

私たちの生き方も同じです。自分が目立ったりほめられたりする必要はありません。また成功する必要もありません。神様のみこころを行うことにのみ集中しましょう。それが喜びであり、結果的には主からの栄誉をいただくことになるのです。

イエス様の十字架と復活という救いの出来事が成就する前である、このヨハネのバプテスマの意味は、あくまでも悔い改めです。しかしイエス様は「聖霊と火とのバプテスマ」をお授けになりました。

すなわち聖霊とは新しく生まれた者に与えられる聖霊のきよめと賜物であり、また火とは罪を焼き尽くし滅ぼすさばきときよめです。

ヨハネのバプテスマは悔い改めだけではなく、私たちもイエス様を信じたことによって、イエス様とともに死んだのですから、ヨハネの言うような悔い改めの実を結びましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあつて何を実践しますか？

